

射 管 員(1/2)

1 仕事の内容

射管員は、護衛艦、掃海艇等に乗組み、射撃指揮装置を操作して、砲弾やミサイルの発射の管制を行い、狙った目標に対して砲弾やミサイルを発射します。また、最新護衛艦に乗り組みとなるため一部にアメリカへの留学の機会もあります。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、攻撃要員として約1年間護衛艦等で勤務します。その後、第1術科学校の海士射管課程(4ヶ月)を経て、護衛艦の砲雷科射管員として艦艇勤務となります。

3 主な勤務地

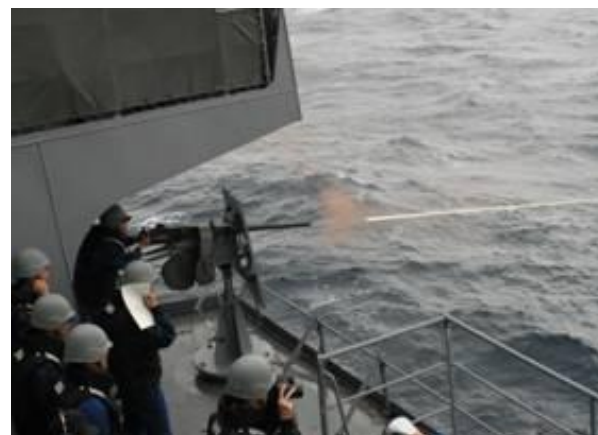
全国5カ所の総監部(横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊)等を母港とする艦艇部隊(護衛艦、輸送艦、掃海艇、ミサイル艇等)、第1術科学校等の教育部隊などがあります。



(高性能CIWS速射砲の整備)



(最新の射撃指揮装置を装備した護衛艦「ひゅうが」進水式)



(機関銃の訓練射撃)

射 管 員 (2 / 2)

(射管員の一日の流れ)

- 1 停泊中
0700頃 帰艦(出勤)
0800(1200)仕事
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1645)仕事
1730頃 上陸(退勤)
- 2 出港中
0600 起床
0615(0700)朝食
0800(1200)訓練等
1200(1300)昼食、休憩等
1300(1700)訓練等
・・・約3時間3直で艦橋で当直

4 取得可能な資格及び免許

1級小型船舶操縦士、乙種危険物取扱責任者、各種自動車免許

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

| 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | |
|-------------|------------------|-----|--------------------|------------------|-----|-------------|-----|------------------|------|--|
| 教育隊(練習員等課程) | 護衛艦 (砲雷科射管員)等 | | 第1術科学校 (海士射管課程) | 護衛艦 (砲雷科射管員)等 | | 教育隊(初任海曹課程) | | 護衛艦 (砲雷科射管員)等 | | |

6 先輩からの一言

海上自衛隊でしかできない職種ということで希望しました。

射撃訓練等苦しいこともありますが、充実した毎日を過ごしています。

カッコいい職種なので、是非、希望してください。部隊で待っています。

